

オンライン回答のご案内
回答期限：令和5年7月20日（木） 23：59

令和4年度 看護職員確保状況等に関する実態調査【病院】

施設名：		許可病床数：		床	連絡先（TEL）			
回答者職名：	① 看護部長	② 事務部長	③ その他				回答欄	③の場合は記載
施設E-mail(担当者)								

※本調査における「看護職員」とは、保健師・助産師・看護師・准看護師をさす。

問1 令和4年度の看護職員の採用・退職・病床数の状況について入力してください。

- ※令和4年度とは、令和4年4月1日～令和5年3月31日をいう。
- ※該当者がいない場合（新卒者の採用がなかった場合等）は、セルに **0(ゼロ)を入力**してください。
- ※「新卒」は、免許取得後、初めて就労した職員のことです。
- ※「既卒」は、別施設での就労経験を経て初めて当該施設に採用された職員のことです。
- ※「定年後の再雇用」とは、定年後に同じ病院で勤務することをさす。

	保健師		助産師		看護師		准看護師		合計		
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	非常勤・非常勤
1. 令和4年4月1日の在籍看護職員数											
2. 令和5年3月31日の在籍看護職員数 (3月31日付退職者を含む)											
3. 令和4年度の新卒採用者数 ※「新卒」は、免許取得後初めて就労した職員											
4. 3のうち、令和4年度中の新卒退職者数											
5. 令和4年度の既卒採用者数（新卒以外の看護職）											
6. 5のうち、令和4年度中の既卒退職者数											
7. 令和4年度の総退職者数 (新卒・既卒採用者の退職者、定年退職者を含む全ての退職者数)											
8. 7のうち、定年退職者数											
9. 8のうち、定年後の再雇用者数 ※再雇用とは、定年後も同施設に勤務するもの											

問2 令和4年度中の看護職員の採用募集方法等について（複数回答可）

最も採用につながったものに◎、その他採用募集に利用したもの全てに○を、▼(リスト)より選択してください。

① 法人・医療機関のホームページ	② ナースセンターへの登録	③ ハローワークへの登録
④ 合同就職説明会への参加	⑤ 学校訪問	⑥ 求人誌・広告
⑦ 紹介業者	⑧ 職員の紹介(口コミ)	⑨ 看護学生の実習受け入れ
⑩ その他(具体的に： _____)		

16	緊張感が持続するなどの質的な労働負荷							
17	職場の望む勤務形態への不適合(夜勤など)							
18	職場のIT化(電子カルテの導入など)							
19	上司・同僚等職場の人間関係							
20	契約期間満了							
21	奨学金の返済終了							
22	その他							
	→具体的な内容を記入ください							
合計								

(2) 問4(1)の結果を踏まえて、自院の退職者の特徴と考えられることがあればお書きください。

★問5. 問6は令和3年度分の情報に基づいて回答してください。

問5 令和3年度の常勤看護職員の1人あたりの年次有給休暇の平均取得日数・平均取得率を入力してください。
(前年度からの繰越分を除き、産前、産後休暇は含まない)

① 平均有給休暇取得日数

令和3年度に全常勤看護職員が実際に取得した有給休暇日数の合計	[]	=	#DIV/0!	日
令和3年度に全常勤看護職員数	[]			

② 平均有給休暇取得率

令和3年度に全常勤看護職員が実際に取得した有給休暇日数の合計	[]	×100=	#DIV/0!	%
令和3年度に全常勤看護職員に新規に付与された有給休暇日数の合計	[]			

問6 令和3年度の常勤看護職員の超過勤務時間について1人あたりの月平均時間をご記入ください。

超過勤務…月平均1人あたり [] 時間 (小数点第1位まで)

問7 自施設での、定年退職後の看護職員の雇用について、回答欄に数字、および○を▼(リスト)より選択してください。

項目	回答欄			
1) 定年年齢 (再雇用を含む雇用可能な最高年齢)	歳 ([]) 歳			
2) 定年延長の導入の有無 (再雇用除く)	あり →	定年年齢 ([]) 歳	[]	なし
3) 役職定年制度の導入の有無	あり →	年齢 ([]) 歳	[]	なし
4) 他施設定年退職後、採用した看護職員数	人			
上記4)の担当業務 (複数回答可)	[]	病棟勤務(夜勤あり)	[]	病棟勤務(夜勤なし)
	[]	管理部門	[]	地域連携・入退院支援
	[]		[]	外来勤務
	[]		[]	相談業務
	[]		[]	教育・指導担当
	[]		[]	その他

5) 定年後の看護職員の確保における課題について、該当するもの全てに○を、▼(リスト)より選択してください。
(複数回答可)

① 金銭面(給与が高額)	[]	② 知識(ICT関連を除く)	[]	③ 体力面	[]	④ ITC等扱いが不慣れ	[]
⑤ 上司・同僚との人間関係	[]	⑥ 患者との人間関係	[]	⑦ 看護技術・業務経験(即戦力の人材を希望)	[]		[]
⑧ その他(具体的に: [])							

6) 定年後の働き方における対応が可能なもの全てに○を、▼(リスト)より選択してください。

① 週勤務日希望可	[]	② 時間勤務(半日・短時間等)	[]	③ 週末(土・日)休み	[]	④ 夜勤なし	[]
⑤ その他(具体的に: [])							

問8 認定看護師についてお答えください

1) 貴院における認定看護師の人数を分野ごとにご記入ください

認定看護分野	延人数	認定看護分野	延人数
① 救急看護・集中ケア/クリティカルケア		⑪ 慢性心不全看護/心不全看護	
② 緩和ケア・がん性疼痛看護/緩和ケア		⑫ 皮膚・排泄ケア	
③ がん化学療法看護/がん薬物療法看護		⑬ 感染管理	
④ 訪問看護/在宅ケア		⑭ 糖尿病看護	
⑤ 不妊症看護/生殖看護		⑮ 新生児集中ケア	
⑥ 透析看護/腎不全看護		⑯ 手術看護	
⑦ 摂食・嚥下障害看護/摂食嚥下障害看護		⑰ 乳がん看護	
⑧ 小児救急看護/小児プライマリケア		⑱ 認知症看護	
⑨ 脳卒中リハビリテーション看護/脳卒中看護		⑲ がん放射線療法看護	
⑩ 慢性呼吸器疾患看護/呼吸器疾患看護			

問9 特定行為研修についてお答えください。

1) 貴施設における特定行為研修の受講状況についてお答えください。

※ 修了者や受講者がいない場合はゼロを記入ください。

① 修了者 人

② 受講中・令和5年度以降受講予定 人

2) 修了者のうち、貴施設で活用している特定行為区分(延人数)について、お答えください。

特定行為区分の名称	延人数	特定行為区分の名称	延人数
① 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整		⑳ 創傷に対する陰圧閉鎖療法	
② 侵襲的陽圧換気の設定の変更		㉑ 創部ドレーンの抜去	
③ 非侵襲的陽圧換気の設定の変更		㉒ 直接動脈穿刺法による採血	
④ 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整		㉓ 橈骨動脈ラインの確保	
⑤ 人工呼吸器からの離脱		㉔ 急性血液浄化療法における血液透析器又は血液透析濾過器の操作及び管理	
⑥ 気管カニューレの交換		㉕ 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	
⑦ 一時的ペースメーカの操作及び管理		㉖ 脱水症状に対する輸液による補正	
⑧ 一時的ペースメーカリードの抜去		㉗ 感染徴候がある者に対する薬剤の臨時の投与	
⑨ 経皮的心肺補助装置の操作及び管理		㉘ インスリンの投与量の調整	
⑩ 大動脈内バルーンパンピングからの離脱を行うときの補助の頻度の調整		㉙ 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	
⑪ 心嚢ドレーンの抜去		㉚ 持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	
⑫ 低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更		㉛ 持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整	
⑬ 胸腔ドレーンの抜去		㉜ 持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	
⑭ 腹腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む）		㉝ 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	
⑮ 胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換		㉞ 持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	
⑯ 膀胱ろうカテーテルの交換		㉟ 抗けいれん剤の臨時の投与	
⑰ 中心静脈カテーテルの抜去		㊱ 抗精神病薬の臨時の投与	
⑱ 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入		㊲ 抗不安薬の臨時の投与	
⑲ 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去		㊳ 抗癌剤その他の薬剤が血管外に漏出したときのステロイド薬の局所注射及び投与量の調整	

3) 特定行為研修の受講費負担についてお答えください。

① 病院が全額負担		② 病院が一部負担		③ 本人負担	
-----------	--	-----------	--	--------	--

4) 特定行為研修を受講するにあたり、課題となっていることについて選択してください。(複数選択可)

① 受講希望者がいない		② 遠方のため受講できない		③ 医師の理解や協力を得にくい	
④ 受講費や旅費等の費用負担		⑤ 特定行為の活用方法がわからない		⑥ 受講中の代替職員の確保	
⑦ その他(具体的に： _____)					

5) 指定研修機関及び協力施設の申請意向についてお教えください。

① 指定研修機関 ② 協力施設 → ③ 協力施設の場合年間定員数 名
(申請中含む)

問10 看護職員確保に関する事等について、自由にご記入ください。

※ 兵庫県医務課・兵庫県看護協会ナースセンターで実施している本調査にご協力いただきましてありがとうございました。

次へ

※ 兵庫県看護協会「看護職確保定着・離職防止推進委員会」では、好事例集を作成することを検討しております。各施設で好事例がありましたら、是非記載していただき、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

問11 看護職員の確保に関して効果があった例があれば記載してください。

問12 看護職員の定着に関して効果があった例があれば記載してください。

ご協力ありがとうございました。